

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English A		
英文授業科目名	English A		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	狩野 暁洋 (学内連絡教官 佐藤 美弥子)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
akikano@mac.com	

【主題および達成目標】
英語で書かれたテキストを理解する為に必要な、様々なスキルを身につけることがこのコースの主要な目的です。また、英語の得意な学生には普段から自分で英文を多読する習慣を身につける指導をします。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書: Milkulecky, B. S., & Jeffries, L. (1998). Reading power (2nd ed.). White Plains, NY: Longman.

【授業内容とその進め方】

授業は教科書に載っている練習問題を中心に取り扱ってゆく。目的とするスキルや授業で扱う練習問題には次のようなものがある。

1. 目的や用途により、違った読み方ができる能力の育成
 - (1) Scanning (テキストにある特定の情報をできるだけ速く収集する)の練習
 - (2) Skimming (テキストに目を走らせて、その概要を把握する)の練習
2. ボキャブラリーの育成
 - (1) 語彙の意味を前後の文脈から推察する練習
3. パラグラフで文章を理解する能力の育成
 - (1) 代名詞のような指示表現が何をさすのか指摘する練習
 - (2) パラグラフを読んで、そのパラグラフの適切なトピックをリストから選び出す練習
 - (3) パラグラフの趣旨として適切なものを、リストから選び出す練習
4. 様々なジャンルの文章構成を理解する能力を養成する
 - (1) 因果関係を述べた文章で、どの部分が原因で、どの部分が結果なのか分析する練習
 - (2) 物事の比較について書かれた文章を読み、類似点、相違点をそれぞれまとめる練習
5. テキストを読む際にBackground knowledgeを活用する力を養う
 - (1) テキストに挿入されている絵を見て、トピックを推察する練習
 - (2) 会話文を読んで、その会話がどこで行なわれているかを推察する練習

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

成績評価は以下の基準で行なっていく。

期末試験	60%
宿題及び提出物	20%
授業参加	20%

尚、A以上の成績を取りたい学生には、自分で興味のある(40ページ以上の)洋書を一冊読んで、学期末に簡単なブックリポートを提出してもらいます。

(b) 評価基準

最低基準

- (1) 出席率が3分の2を満たしている。
- (2) 指示された宿題と課題を基準以上にやってきている。
- (3) 期末テストで最低基準の得点がとれている。

【オフィスアワー：授業相談】

オフィスアワーはないが、授業のことにに関してアポイントメントを希望する学生は電子メール等で連絡すること。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【学生へのメッセージ】
この授業では、リーディングのスキル育成を重視している為、難解な文章は使用しません。

【その他】